



ぶんと通信

第87号

2013年4月15日発行
(公財)伊賀市文化都市協会

役行者像から 忍者・忍術のルーツを探る

伊賀市と言えば忍者、この号が配布される時期は5月6日まで「伊賀上野NINJAフェスタ」の期間中。城下町は週末になると、色とりどりのコスプレ忍者たちで賑やかになります。

その忍者・忍術ですが、一説には山伏による修験道(しゅげんどう)がルーツだと言われています。修験道とは古来の山岳信仰に、道教や仏教などが加味された民衆宗教です。奈良時代のはじめ、役行者(えんのぎょうじや)は修験道の開祖と言われ、吉野の金峰山上で蔵王権現を感得。吉野、大峯を越え熊野までの道を修行したとされています。(この吉野から大峯・熊野までの修行の山道は「大峯奥駈道」と呼ばれ、現在は世界遺産に登録されています)「呪術を用い、鬼を従え、谷を越え、空をも飛んだ」実際ありえないような話が、言い伝えられているのは、役行者は「古代のスーパースター」として崇められていたからだと思われます。そんな役行者にあこがれて、多くの山伏が修行に励んだとされ、伊賀の山中でも修行が行われていたと言われています。

山伏による修行が忍術に繋がったと言われる通り、共通する点が多くあります。山岳で修行を積み、薬学(毒の知識)や火の取り扱いに精通していること、そして忍者に詳しい方ならご存知の「九字」は山伏も九字護身法(くじごしんぼう)として、九字を切る「九字(臨、兵、闘、者、皆、陣、列、在、前)」の呪文を唱え、邪気を払っていたと言われています。

伊賀地域に役行者の影響が大きかった証でしようか。伊賀(名張も含め)には130体以上の役行者像が、祀られています。画像の役行者像は、伊賀市小田にある「開花寺」前(ここは2体あります)と、枠内は音羽の「西音寺」境内のもので、研究家の方々の調査により役行者像のマップも発行されており、それを頼りに「行者さん巡り」も出来ます。忍者のルーツ・役行者を訪ね歩くのも楽しいかもしれません。

*参考文献:『伊賀の役行者』(伊賀忍者研究会)(広報事業委員 下猶茂樹)

BUNTO チケット情報

米村でんじろう
おもしろサイエンスショー
2013

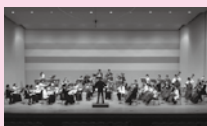


4/21日 好評発売中

①開場12:30 開演13:00
②開場15:00 開演15:30
一般 2,000円
(全席指定)

伊賀市文化会館

第8回
さんさん名曲
コンサート



5/12日 好評発売中

開場13:30 開演14:00
一般 500円
(全席自由)

あやま文化センター

藤原道山
×
SINSKE
「風神雷神」



6/30日 4/27日発売

開場14:30 開演15:00
一般 3,000円
(全席指定)

ふるさと会館いが

布施 明
LIVE2013



7/5金 4/20日発売

開場18:30 開演19:00
一般 5,000円
(全席指定)

伊賀市文化会館

三山ひろし
コンサート



7/20土 5/25日発売

①開場12:30 開演13:00
②開場16:30 開演17:00
一般 3,800円
(全席指定)

ふるさと会館いが

ベンチャーズ
Japan Tour
2013



8/25日 5/26日発売

開場15:30 開演16:00
一般 5,000円
(全席指定)

伊賀市文化会館



新理事長あいさつ

公益財団法人 伊賀市文化都市協会 理事長 辻上 浩司

日頃は、伊賀市文化都市協会が主催いたします催事に多数ご参加いただき、誠にありがとうございます。このたび、今年1月30日に開催された理事会で新たに理事長に選任されました辻上浩司（伊賀市副市長）です。

当協会は、伊賀市文化会館をはじめとする4つの文化ホールを活用した芸術・文化の普及・振興、上野図書館や3つの公民館図書室及び栄楽館等の運営管理を通じた生涯学習の振興、旧崇廣堂などの歴史的遺産の保存・活用を通じた郷土文化振興、市の体育施設の運営管理を通じたスポーツ振興、さらには産学官連携地域産業創造センターでの共同研究開発等を通じた地域産業の振興など、実に幅広い業務を行っています。

これらの多くは、伊賀市からの指定管理者制度による委託業務ですが、市の施設を有効に活用し、協会独自の企画事業も行いながら、市民の皆さんに満足いただける取り組みを精一杯提供していきたいと考えています。

最後に、当協会の広報紙「ぶんと通信」は、市民の皆さんと当協会をつなぐ架け橋として、隔月（偶数月）に伊賀市広報とともに各戸にお届けしていますが、行事の案内はもとより、広報委員の方々のご協力により伊賀のすばらしい歴史文化などもお伝えしていきますので、今後ともご支援いただきますようお願いいたします。

先取りインタビュー

ふじわらどうさん

シンスケ

藤原道山さん・SINSKEさん

来る6月30日(日)ふるさと会館いがで「藤原道山×SINSKE『風神雷神』～尺八とマリンバによる世界最小オーケストラ」が開催されます。公演に先立ち、ジャンルを越えて活躍されているお二人にお話を伺いました。

Q. 道山さんは「尺八」とイメージから想像できないほど、ソロ活動以外にもさまざまなトップアーティストと共演されていますし、SINSKEさんはマリンバ奏者として、海外で高い評価を得られていますね。お二人が共演されることになったきっかけは？

A. SINSKE：元々尺八という楽器が非常に興味があったところに、道山氏よりM.ラヴェル「ボレロ」の演奏を尺八とデュオで是非お願いしたいというオファーを頂き、音楽的な可能性として尺八とマリンバというシンプルな楽器二つでオーケストラの大曲ボレロの“おと世界”をどこまで構築出来るか少し悩んでから、お受けしたのがはじまりです。

Q. 和楽器の「尺八」と洋楽器の「マリンバ」の組み合わせについてお聞かせください。

A. 道山：私としてはあまり『和』『洋』について意識をしていません。英語を喋る日本人はいるし、日本語を喋る海外の方々もいらっしゃいますよね。ただ、楽器の性格、尺八は管楽器で音を持続することが出来る、マリンバは打楽器であり旋律や和音を出すことが出来るという違いがあり、両者の特徴を活かせれば面白い物が出来るのではと思います。

Q. お二人のそれぞれの聞かせどころを教えてください。

A. SINSKE：道山氏と共に、お互いに楽器としての新しい可能性を広めていきたいという夢であり、使命を自ら背負い活動してきた中で、その想いを重ねながら、二人の生み出す空気は誰にも真似の出来ない空間。呼吸からアイコンタクトまで生きている空気、二度と再現出来ないその空間を味わって頂きたいと思います。



藤原道山さん(尺八)・SINSKEさん(マリンバ)

Q. 6月の公演を、伊賀の私たちもとても楽しみにしています。伊賀へのメッセージや抱負などをお聞かせください。

A. 道山：伊賀には以前「KOBUDO古武道」で伺い、縁に囲まれた気持ちのよい所だなと感じておりましたので、また演奏出来ますこと楽しみにしております。今までに聴いたことの少ないと思われるこの尺八とマリンバのデュオサウンドをお楽しみ頂ければと思います!!
SINSKE：伊賀の音楽ファンの皆様、即興演奏も大事にしている僕達にとって、お客様の雰囲気や作り出す空気というのいいステージを作るための大事な要素の一つです。伊賀の皆様の笑顔と空気を吸い込んで、また新たな世界を作り出せる大事な機会だと思っています。皆様にお会いするのを心より楽しみにしています!!

(広報事業委員 廣澤良美)



一筆啓上
ふるさとへ

「地震災害への備え」

北海道大学大学院 理学研究院附属地震火山研究観測センター長・教授 谷岡 勇市郎



最近名古屋大学での集中講義の後、伊賀に立ちよることが多い。東日本大震災の後、将来発生する南海トラフ巨大地震やその地震による大津波の想定最大規模が見直され、名古屋市にも大津波が襲い、名古屋市内も浸水すると想定された。北海道から中部国際

空港に着くと、この空港は大丈夫だろうかと心配になる。名古屋市は想定大津波に備えて、これから自治体・住民レベルで災害軽減対策を実施していくことになる。名古屋大学での講義を終えて、名古屋名鉄バスセンターから上野産業会館行き（現在の市駅行き）に乗り、上野に向かう。バスの中で、「ふるさと伊賀は大津波に襲われる心配はないが、巨大地震による強震動に対する防災・減災対策は実施されているのだろうか？」と不安になる。

東日本大震災を引き起こした東北地方太平洋沖巨大地震は約千年間隔で繰り返す地震であったと言われている。このよ

うな超巨大地震やカルデラ形成を伴う大噴火などによる災害は低頻度・大規模災害と言われる。人の人生よりも発生間隔は長く、ほとんどの人はそのような災害には遭遇しない。さて、そのような災害に対してどのように備えるべきであろうか？伊賀市も南海トラフ超巨大地震が発生すれば、その強震動により、多くの建物が被害を受けるであろう。しかし、我々が生きている間にはそのような地震は起こらないとも思われる。そこで大事になるのは、この巨大地震は将来必ず発生することである。今生きている我々は経験しないかもしれないが、我々の子孫は必ず大災害を被るのである。つまり、我々が防災・減災対策を取らずに放置すれば、我々の子供や孫は大災害を被る確率は高くなるのである。

伊賀市は1854年江戸時代に発生した安政伊賀上野地震（内陸直下型地震）により大被害を被っている。住民は自治体まかせにせず、将来発生する巨大地震に対する防災対策を進めて欲しいと願う。できれば毎年、家族で避難路の確認・非常用食料の確認・防災袋の更新等、防災対策を文化として根付かせて欲しい。

夢ing

将来の夢

三重県立伊賀白鳳高等学校 陸上競技部 みさと
女子副キャプテン 3年 久保倉 実里

私の将来の夢は日本のトップランナーになる事です。私は今、伊賀白鳳高校陸上競技部で長距離に取り組んでいます。今年は全国高校駅伝10番台と全国高校総体出場を目標に日々の練習と生活に取り組んでいます。二年前、伊賀白鳳高校のユニフォームを着て全国高校駅伝を走りたい！という一心で入学しました。しかし、高校入学後は自分の思うような走りが出不来ない時期が続き、走る事が怖くなり目標や夢を見失いそうになりました。なぜ自分が納得のいく走りができないままなのかを考えた時、自分が自分を信じる事が出来ていない事に気が付きました。私ならできる！という自信を持ってスタートラインに立てるようになる事を自分の課題としました。その為に自分自身を見つめ直して弱点を克服する事や、いろんな事にチャレンジして新しい自分を見つける事で自信につながるようにしています。今年は三年生になり、目標である全国高校駅伝を走るチャンスは残り一回となりました。私はたくさんの方々のおかげで、とても恵まれた環境で陸上競技に取り組む事ができています。その事に感謝をし、今年こそ全国駅伝への切符を掴み取りたいと思います。また、高校卒業後も伊賀白鳳高

校の陸上競技部で学んだ事を活かし、実業団で競技を続けていきたいと考えています。そしてそこで夢を叶える事ができるように、目の前にある目標の一つ一つをしっかりとクリアし、その度に自信を深めながら日本のトップランナーへ近づいていけるように頑張っていきたいと思っています。



伊賀のええもん見つけた

「南宮山」

敢国神社の表参道を通り、鳥居からさらに先へ進むと南宮山の登山口にさしかかります。

かつて山頂付近に美濃南宮大社の御祭神・金山比咩命（かなやまひめのみこと）を勧進した7世紀中ごろ以降「南宮山」という山名がついたと推測されています。

この山はその秀麗な姿から「伊賀小富士」とも呼ばれ、現在は頂上の社には富士山の浅間神社から勧進された木花咲耶姫命（このはなさくやひめのみこと）が祀られています。標高は350メートル、富士山の十分の一たらずの高さで、登山口からの高低差は200メートル程度、山頂まで

約1キロ・30分ほどの道のりです。

この山は他にも伊賀一之宮である敢国神社がふもとにあることから「一之宮山」、また、天正9年（1581）織田信長が第二次天正伊賀の乱のおり、この山に登り伊賀の様子を観察したとの言い伝えから「国見山」ともいわれます。

ちなみに、伊賀の二之宮は服部町の小宮（おみや）神社、三之宮は土橋の波多岐（はたき）神社。地図上でこの三社を結ぶとほぼ正三角形になることは周知のことではあります。

（広報事業委員 菊野善久）



波多岐神社付近から望む



小宮神社付近から望む

こだわり人生乾杯

自然保護活動が自然破壊に なっていませんか？

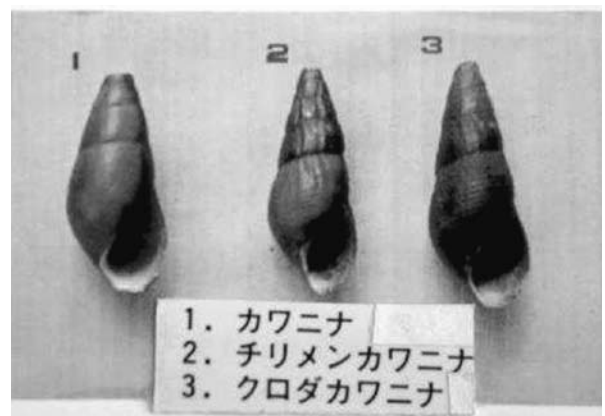
市内在住 日本貝類学会会員 中 大三郎

初夏になると「ホタルの乱舞のようすを観察しよう」とメディアを通じてさかんに「自然への誘い」が報道されます。

私は伊賀に流入する各河川で、ホタルの幼生の餌となるカワニナ類の分布と変異などを調べてきました。その結果、カワニナ、チリメンカワニナとクロダカワニナの3種がそれぞれの河川で棲み分けていることが分かりました。前者のカワニナは変異が大きく伊賀地方に広く棲んでいます。チリメンカワニナは木津川の丸山や柘植川の佐那具付近より下流域に棲み、混生地も数多く見られます。クロダカワニナは丸山と菖蒲池・安場付近に限定されています。

御杖村から流れる青蓮寺川と室生川上流には、形態および遺伝学的にもチリメンカワニナに近い特異なカワニナが生息しています。また、地質学的に特徴のある古琵琶湖層が露出している旧阿山町の山間部から滋賀県にかけ、多産型のカワニナが棲んでいます。

僅か3～4cmの小さな生き物ですが、我々人類よりも古くから地球で生き抜いてきた仲間です。日本に棲むカワニナ類は卵胎生で、子供をたくさん育てる構造になっています。このように河川により棲み分けて進化および分化しているにもかかわらず、淡水魚類と同様に移植という行為は生き物たちの進化の方向を乱すことになっています。どうか川を汚さないでください。きれいな水の保全が最良の自然保護になるものと思います（詳細は上野市史自然編：2004年刊をご覧ください）。



芭蕉さん歳時記

季語は「山吹」で春の作品。

山吹きや笠に指べき枝の形り

元禄4年(1691年)、48歳の時、伊賀上野の生家で作られた即興的な軽い句です。生家の周りには、山吹の花が咲いていた



のでしょうか。あるいは遠くを眺めれば、美しい山吹の花が見られたのでしょうか。

山吹は、茎が細くて柔らかく先端が垂れ下がっています。晩春に、オレンジ色と黄色の中筒色(山吹色)の花を多数咲

かせます。そのしんなりとたわんだ様が、笠のやわらかな曲線ととてもよく似合い、笠に挿すと飾りとしてちょうど良い風情であるということでしょうか。山吹の花には一重と八重があり、現在は八重が多く栽培されています。自然種では一重が多いようで、芭蕉さんが見ていたものは、一重だったのかな。余談ですが、江戸時代、小判のことをその色から「山吹色」と呼んでいたそうです。「山吹色のお菓子」といえば、賄賂のことだったとか。



この句碑が、伊賀市服部町くれは水辺公園にあります。句碑の隣にはやや小さめの芭蕉さんの像もあります。気になる方は、ぜひ現地に行ってみて下さい。

【参考文献】芭蕉記念館ホームページ：公益財団法人芭蕉翁顕彰会
松尾芭蕉集：小学館

(広報事業委員会 奥 真也)

優子の

「花散りぬ」



多情
多感

北泉優子

No.47

桜が咲き、花吹雪となって散る季節となると、いつも思う。

そろそろ人生の終わり支度をしなければ、と。が、これも毎年ながら、あれこれ考える前に「あ、面倒くさい来年にしよう」とやめてしまう。明日のことは分からないが、目下は、普通の生活をしていて何の不自由もないし、終わり支度よりも、むしろ、何かまた新しい事柄に挑戦したいと、身体がむずむずするくらいだ。これから英語を習おうかな。俳句も勉強したい。教えてくれる人がいれば、フラダンスもおぼえたい。と、やりたいことを並べているほうが、ずっと楽しい。現実化しなくても、夢を見るのはいいことだと思ってしまうのだ。父母、姉の位牌と自身のそれを永代供養にして……などとネガティブになると、普段は忘れて若い気であるのが、とたんに実年令を突きつけられたようで、反発したくなる。まだまだあと十回はお花見をして、お喋りをして、美味しいものを食べて、相変わらずの拙文を、注文が来たら書かせてもらって、元気で頑張っただけでいい。折角産んでもらい、長生きさせてもらっているのだから、精一杯、生きることを満喫したい。そう願っている今日この頃だ。ただ、年寄りが、のさばって、若い人達の道をばはむのは、厳に慎しもうと決心している。若い世代は、大通りを闊歩すればいい。私世代はそのあとをゆっくり追えば、それで充分だ。「あれ、ちゃんとして来ると感じないか。少し手を貸してやろうよ」と言ってくれれば感謝感激だ。

そんな思いで桜を待っていた三月上旬、前川圓先生の計報が届いた。享年89。圓先生とは、そんなに深いおつきあいでなかった。まだ小学校低学年のころ、山の子ども合唱団と名付けたコーラスグループがあり、その一員にわたしもなった。月に二回か三回練習があつて、その時、オルガンで伴奏してくれたのが先生だった。まだ若い娘で、とにかく美人でもあった。きれいな先生で嬉しいなあと感じたのを、今でも憶えている。ただ小学校で中学校で音楽を教えてもらったかどうかは、もう昔の

ことで定かではない。先生と再会したのは、東京と伊賀を行ったり来たりしてからだ。何かのパーティーがあつて、ホテルのロビーで会った。「前川先生、お久しぶりです」「あんな、マーちゃんか。わたしはなあ、あんなの書いたドラマが一番好きやして。一本芯が通っていて、いつも感心してるんやで。」伊賀弁丸出しの先生は、若い頃とちつとも変わらず、美人でしゃきつとしていた。誉めてもらった嬉しさに、つい「先生、今度東京から帰ったら、一度遊びに伺つていいですか」「おいでおいで。けど、わたしも、コーラスまどかやつてるし、波多野さんに歌のレッスンしてもらつてるし、忙しいねん。前の日にも電話くれるか」そんな会話が、当方も多忙で、それっきりになつてしまつた。電話もしなかつた。が、都合がつけば、コンサートには行つた。舌ガンの手術をされるずっと前だと思つた。着物姿で歌われたことがあつた。歌もさりながら、ほんとうにおきれいで、あんな美形だもの伊賀の並の男じゃとても相手にならないなあ、生涯独身を過ごされた理由の一端を、かいま見た気がした。

それから二、三度、パーティーやお食事会でお逢ひしたが、いつも前向きで、お元気で、いい年の取り方をされていた。わたしは今、圓先生の生きざまをモデルにしているのかもしれない。

「マーちゃん、背筋延ばしてるのは、見栄やして。背中丸いと年よりくさいしな」

その言葉を心の中で繰り返して、わたしも背筋を、見栄で延ばしている。

ソプラノ歌手をして、歌への強い思いひとすじで、90オコンサートを一月に終えた先生は、最後となった病室でも、音楽仲間の誰彼に「歌って、歌って」とうわ言のようにせがんだと聞いた。圓先生に、わたしがつと早く電話して、親交を深めていたら、その生涯を取材させていただき、小説を書いていたのに……

先生は、その一方で、きちんと人生の終わり支度をしておられた。万が一にそなえて、戒名までご自分でつけていらしたと、通夜に、喪主さまがご披露された。わたし如きチンピラが傍へも寄りぬ立派な方であつた。

伊賀の宝が、また一つ逝つた。いや、清らかな大輪の花が、静かに散つたのだ。ご冥福を心から祈るばかりだ。「マーちゃん、あんなは、もうちよつとゆっくりしてから、こつちへおいで……その時は一晩中話しような」

天国の圓先生が、そう囁いた気がふとした。

(作家・市内在住)

ぶんと文化財施設アート活用事業&史跡旧崇廣堂ワンコインLIVE2013

ART of Flower 2013 Arrangement



伊賀地域で活動するフラワーアレンジメントアーティスト達による「花」と「ART」のコレクション展

【日 時】 5月11日(土)~12日(日)
開館 9:00~21:00(夜間ライトアップ)
【場 所】 史跡旧崇廣堂(伊賀市上野丸之内78-1)
【入館料】 無料(期間限定、LIVEは有料 500円)

5/12
SUN

花 宵

-HANAYOI-

LIVE

Yumiko & Keiko



【日 時】 開場 17:30 開演 18:30 **発売中**
【料 金】 500円(全席自由)
【出 演】 Yumiko(フルーティスト)、Keiko(パニラムードピアノ)
【定 員】 160名

参加者募集

タッチ・ザ・スタインウェイ

~世界最高峰のスタインウェイを気軽に弾いてみませんか!~

■ふるさと会館いが 5月18日(土) 10:00~17:00
■青山ホール 6月8日(土) 10:00~17:00
■あやまさんさんホール 6月29日(土) 10:00~17:00
【演奏時間】 1枠30分 ※おひとり1枠のみ
・申込者本人のみ利用。・音楽教室等の指導としての利用不可。
【参 加 費】 500円
・青山ホールに限り、2台のピアノの場合は2人以上1組
1時間で1人1,000円(ただし、8手の場合は1人500円)
・1枠に3名以上(ただし2台の場合は除く)の使用は不可。
【募集人数】 各14枠 ※先着順とし、定員になり次第締切
【申込方法】 4月20日(土) 午前11時から電話受付
※「あやまさんさんホール」は「ふるさと会館いが」で受付
【申 込 先】 ●ふるさと会館いが ☎45-9125
●青山ホール ☎52-1109

FLAMENCO×POPS unit soluz 2nd tour!!

フラメンコ×ポップス
=フラメンコポップス

フラメンコという音楽に馴染みのない方でも、
気軽に楽しめる新しいジャンルをぜひお聞き
ください!

5/25(sat) 19:00~

【場 所】 史跡旧崇廣堂 **発売中**
【料 金】 500円(全席自由)
※崇廣堂LIVE10周年特別価格



藤堂藩落校 史跡旧崇廣堂LIVE2013

大人のための癒しのコンサート。

歌う尼さん
やなせ なな

命と心 を伝える愛の歌

【日 時】 6月22日(土) 開演 18:30
【場 所】 史跡旧崇廣堂 講堂
※駐車場については、お問合せください。
【料 金】 一般 500円(全席自由) **発売中**
【定 員】 150名(限定)
【出 演】 やなせ なな(シンガーソングライター)
(浄土真宗本願寺派・教恩寺第六世住職)



すうこうどう寄席 vol.9

膝を突き合わせるくらいの距離で
落語の楽しさを体験しませんか!

【日 時】 6月29日(土)
開場 18:30
開演 19:00
【場 所】 史跡旧崇廣堂 講堂
【料 金】 500円(全席自由)
【定 員】 120名程度
【出演者】 桂 三金 **発売中**
桂壱之輔



史跡旧崇廣堂特別講座

古文書教室

参加者募集

歴史情緒あふれる江戸時代の藩校で、歴史史料をもとに「古文書」を読んでみませんか。「古文書」から伝わる「時代」「文化」「思想」などに触れていただけます。誰でも気軽に学習いただける講座ですので、ぜひご参加下さい。

【日 時】 6月9日(日)~6月30日(日)
毎週日曜日 4回講座
講義時間 13:30~15:00
【講 師】 増田 雄氏
【参 加 費】 800円(4回分、初回に徴収します。)
【定 員】 50名
【申込受付】 5月7日(火)☎22-0511番にて受付

ぶんと読書推進事業

みんなおいでよ! おはなしライブ

中川ひろたかさんと ともだちになろう!

人気絵本作家でシンガーソングライターの「中川ひろたか」さんの、
みんなで楽しめる「おはなしライブ」!

【日 時】 6月9日(日) 開演 13:30~15:00
【場 所】 ふるさと会館いが(伊賀市下柘植6243)
【定 員】 200名(参加無料、要整理券)

※定員になり次第、整理券配布終了
【整理券配布】 5月19日(日) 10:30から、
ふるさと会館いがにて整理券
配布。(お一人3枚まで)



参加無料
(要整理券)



～美と健康の総合プロデュース～

YOGA de Night!

心身共に健康で自立できる元気な体力づくりに!

- 【日 時】 毎週水曜日 6回コース
第1期 5月8日(水)～6月12日(水)
時間 19:30～20:30
- 【場 所】 伊賀上野交流研修センター
- 【料 金】 3,000円
- 【対 象 者】 一般(高校生以上)
- 【定 員】 40名
※先着順。定員になり次第締切。
- 【講 師】 堀川 郁子先生
- 【申込受付】 4月27日(土)、9:00から☎22-0511にて申込受付



癒しのマットサイエンス

.....

ヨガとピラティスの融合

- 【日 時】 毎週金曜日 6回コース
第2期 5月24日(金)～6月28日(金)
受付 19:30～ / 時間 20:00～21:00
- 【場 所】 上野運動公園体育館 2階
- 【料 金】 3,000円
- 【対 象 者】 一般
- 【定 員】 20名
※先着順。定員になり次第締切。
- 【講 師】 阿部 和矢先生
- 【申込受付】 4月27日(土)、10:00から☎22-0511にて申込受付

Let's YOGA in 武道館

.....

リラックス&ダイエット

- 【日 時】 毎週金曜日 10回コース
第2期 6月28日(金)～9月6日(金) ※8/16休講
受付 10:30～ / 時間 11:00～12:00
- 【場 所】 伊賀上野武道館
- 【料 金】 5,000円
- 【対 象 者】 一般(高校生以上)
- 【定 員】 15名
※先着順。定員になり次第締切。
- 【講 師】 中 伊衣子先生
- 【申込受付】 4月26日(金)、13:00から
☎22-0511にて申込受付



Let's YOGA in 交研

.....

リラックス&ダイエット

- 【日 時】 毎週水曜日 10回コース
第2期 6月26日(水)～9月4日(水) ※8/14休講
受付 10:30～ / 時間 11:00～12:00
- 【場 所】 伊賀上野交流研修センター 第4研修室
- 【料 金】 5,000円
- 【対 象 者】 一般(高校生以上)
- 【定 員】 30名
※先着順。定員になり次第締切。
- 【講 師】 錦 真奈美先生
- 【申込受付】 4月24日(水)、13:00から
☎22-0511にて申込受付



エアロビクス

.....

音楽に合わせてみんなで楽しくエクササイズ!

- 【日 時】 毎週月曜日 10回コース
第2期 6月24日(月)～9月9日(月) ※7/15、8/12休講
受付 19:30～ / 時間 20:00～21:00
- 【場 所】 阿山B&G海洋センター
- 【料 金】 5,000円
- 【対 象 者】 一般
- 【定 員】 35名
※先着順。定員になり次第締切。
- 【講 師】 山下 華子先生
- 【申込受付】 4月27日(土)、14:00から
☎22-0511にて申込受付



太極拳教室

.....

ー カラダの芯からリラックス ー

- 【日 時】 毎週土曜日 8回コース
第1期 5月11日(土)～6月29日(土)
受付 9:30～ / 時間 10:00～11:30
- 【場 所】 いがまちスポーツセンター
- 【料 金】 4,000円
- 【対 象 者】 一般(高校生以上)
- 【定 員】 20名
※先着順。定員になり次第締切。
- 【講 師】 横山 公則先生
- 【申込受付】 4月21日(日)、10:00から
☎45-9125にて申込受付



ZUMBA

.....

ラテン系フィットネス

- 【日 時】 毎週木曜日 10回コース
第2期 6月20日(木)～8月29日(木) ※8/15休講
受付 19:00～ / 時間 19:30～20:30
- 【場 所】 伊賀上野交流研修センター
- 【料 金】 5,000円
- 【対 象 者】 一般(高校生以上)
- 【定 員】 30名
※先着順。定員になり次第締切。
- 【講 師】 川南 林恵先生
- 【申込受付】 4月27日(土)、11:30から
☎22-0511にて申込受付



元気ママ・ママ&ベビーの3B体操

.....

- 【日 時】 毎週火曜日 10回コース
第2期 6月18日(火)～9月3日(火) ※7/30、8/13休講
☆元気ママクラス…10:00～10:50
☆ママ&ベビークラス…11:00～11:50
- 【場 所】 三重県立ゆめドームうえの 軽運動室
- 【料 金】 5,000円
- 【対 象 者】 ☆元気ママクラス…1歳以上の未就園(所)児とその保護者
☆ベビー&ママクラス…生後3か月から1歳未満の乳児とその保護者
- 【定 員】 各15組 ※先着順。定員になり次第締切。
- 【講 師】 (社)日本3B体操協会公認インストラクター
- 【申込受付】 4月24日(水)、10:00から☎22-0511にて申込受付

ホール・ドーム **これから** 情報

ゆめドームうえの 伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3 TEL.22-0590

日時	催し物	場所	主催・問い合わせ
4/28日 9:00~	伊賀春季バレーボール大会 中学生の部	第一、第二	伊賀バレーボール協会 ☎21-5813(澤)
4/29(日・祝) 9:00~	JA旗小学生バレーボール大会	第一、第二	伊賀ジュニアバレーボール育成会 ☎21-5748(生中)
5/12日 9:00~	全日本クラブカップ 三重県予選	第一、第二	三重県クラブバレーボール連盟 ☎090-2347-1091(福岡)
5/18日 9:00~	伊賀市卓球団体選手権大会	第一	伊賀市卓球協会 ☎090-5033-4821(其道)
5/19日 8:30~	第6回さつき杯	第一、第二	三重県ドッジボール協会 ☎059-378-3920(内田)
5/26日 9:00~	三重県小学生バレーボール夏季大会 伊賀地区予選	第一、第二	伊賀ジュニアバレーボール育成会 ☎21-5748(生中)
6/2日 9:00~	中部総合バレーボール 三重県予選	第一、第二	三重県バレーボール協会 ☎21-5813(澤)

ふるさと会館いが 伊賀市下柘植6243番地 TEL.45-9125

日時	催し物	場所	入場料	主催・問い合わせ
5/18日 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	大ホール	参加料 500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)
5/25日 13:00~	華の競演in伊賀上野 (新舞踊、落語、相撲甚句)	大ホール	無 料	華の競演in伊賀実行委員会 ☎23-0593(杉本)
6/9日 13:30~	絵本作家 中川ひろたかさんと ともだちになろう!	小ホール	無 料 ※但し、事前に配布する 整理券が必要です。	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
6/15日 14:00~	三重県内男女共同参画連携映画祭 2013	大ホール	無 料 ※但し、事前に配布する 整理券が必要です。	伊賀市人権政策・男女共同参画課 ☎22-9632(西岡)

B&G 海洋センターでカヌーを ご利用いただけます

大山田・阿山B&G海洋センターでカヌーをご利用いただけます。

自然の中でカヌーを体験してみよう! 団体でのご利用も可能です。

◇ご利用できるカヌー等

1人乗りカヌー、2人乗りカヌー、手漕ぎボート、その他ライフジャケット等をご利用いただけます。

◇お問合せ先

大山田B&G海洋センター TEL.47-0551

◇その他

ご利用の際は、事前に申請が必要となります。
また、指導者を配置していただく必要があります。



●編集部だより●

今号からスタートした「芭蕉さん歳時記」。この企画では、季節の芭蕉さんの俳句を取り上げ、担当者が感性の赴くまま、自由に思いを巡らします。伊賀が誇る芭蕉さんですが、その偉業を大切にすのあまり、高く遠い存在にしてしまってきたところがあるように感じてきました。芭蕉さんは伊賀の心の拠り所、そして、旗頭になる存在。この企画が、芭蕉さん、そして、俳句をもっと身近に感じるきっかけになれば幸いです。

(広報事業委員 重藤憲史)

伊賀市文化会館 伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
4/21日 ①13:00~ ②15:30~	米村でんじろう おもしろサイエンスショー2013	一般 2,000円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
4/27日 17:30~	三重県立上野高等学校 第17回定期演奏会	一般1,000円、高校生以下500円 (当日各200円増) 2日間通し券(前売りのみ) 一般1,500円、高校生以下800円	上野高等学校 ☎21-2550 (ギター・マンドリン部 河井) (吹奏楽部 福岡)
4/28日 13:30~	伊賀市戦没者追悼式	無 料	伊賀市健康福祉部厚生保護課 ☎22-9650(健康福祉部厚生保護課)
5/18日 9:20~	民謡やよい会 第24回発表大会	無 料	民謡やよい会 ☎23-7617(会主 中野)
5/26日 10:00~	対馬一誠デビュー15周年記念 東日本大震災復興支援チャリティーコンサートin伊賀	SS 5,000円、S 4,500円 A 4,000円、2階 3,000円	IS東日本大震災復興支援事務局 ☎03-5563-1545(根岸)
6/1日 12:30~	響け!復興のハーモニー 上野ウインドアンサンブル第27回演奏会	おとな 1,000円 こども(4才~高校生)500円 (全席自由)	上野ウインドアンサンブル ☎47-0405(岡山) ☎52-5850(上田)

青山ホール 伊賀市阿保1411-1 TEL.52-1109

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
4/21日 13:00~	2013 リトルピアニストコンサート	無 料	杉森啓子・松岡京子・吉川多真紀 ☎64-4362(杉森啓子)
6/2日 14:00~	大橋多美子・中村美智代 楽・遊遊音楽会Vol.3	1,000円	中村美智代 ☎090-1296-2524(中村美智代)
6/8日 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費 500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109(青山ホール)
6/9日 14:00~	第15回 ピアノコンサート	無 料	真島信子 ☎52-2352(真島信子)

あやま文化センター 伊賀市川合3370-29 TEL.43-1125

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
4/21日 13:30~	ピアノ発表会	無 料	上野レスナークグループ ☎21-5593(石崎)
4/27日 ①9:45~ ②13:45~	ミュージックフェスタ 2013	無 料	上野レスナークグループ ☎21-6767(渋谷)
4/28日 12:15~	リピート発表会	無 料	レスナークグループ「リピート」 ☎20-1558(井坂)
5/12日 14:00~	第8回さんさん名曲コンサート ~名曲世界めぐり~	500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
6/2日 9:30~	第8回 ファミリーカラオケ発表会	無 料	あやま県う広場 ☎42-1167(浅野)
6/9日 9:30~	第18回さいわいカラオケ教室発表会 ゲスト~バクジュニヨン~	無 料	澤井則子 ☎21-6191

◆お詫び◆ ぶんと通信86号「伊賀のええもん見つけた」の文章中、3行目「坂倉順三」とありますが、「坂倉準三」の誤りです。お詫びして訂正いたします。

伊賀びと川柳

★今映えて昔日陰の忍び者
伊賀鉄道孫とばあばの夢乗せて 井ノ上 揮男
伊賀焼きを鑑定団が値踏みする 森岡 さら代
かた焼きをみやげに持って 新任教
天神さんに忍者姿の子が手を合す 福沢 義男
クラス会伊賀弁使い通訳 西出まこと
上野城古い町並消えにけり 中島 きぬ
伊賀の顔みんなそろろうはうたおう会 東平 幸子
田中 鋭子

次号(88号)の締切は5月15日(水)です。投稿いただいた方の中から★印の方に「藤原道山×SINKKE「風神雷神」のペラチケットをプレゼントします。伊賀にちなんだ川柳・氏名・住所・年齢・連絡先・必要なら掲載用の柳名をハガキ・FAX・Eメールで下記までお願いします。

お問い合わせ (公財)伊賀市文化都市協会 TEL.0595-22-0511 FAX.0595-22-0512
☎518-0809 三重県伊賀市西明寺3240番地の2 Eメール samazama@bunto.com
・伊賀市文化都市協会 http://www.bunto.com
・ふるさと会館いが http://www.ict.ne.jp/~furukan/